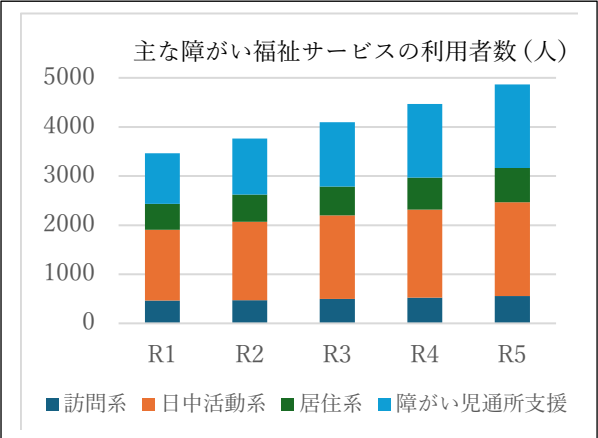


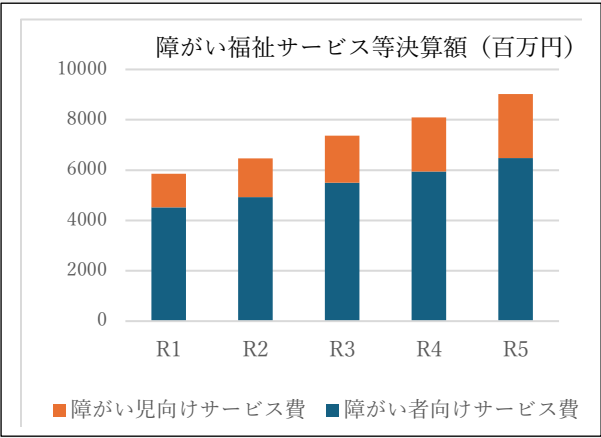
春日井市における障がい福祉の現状と課題について

1 地域における生活支援の充実

(現状) ■ 障がい福祉サービスの量的に充実してきている。
■ 量的充実から質的充実がより求められている



主な障がい福祉サービスの利用者数(延べ人数)



障がい福祉サービス等決算額

【地域自立支援協議会等の意見】

- 児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所数が増加しているが、障がい较重いと利用できなかったり、児童の支援経験の少ない支援員が多い事業所がある。
- 新しいグループホームが次々とできているが、障がい福祉サービスの実績や経験が乏しい民間事業者の参入が多くみられる。
- 医療的ケアを必要とする人や、強度行動障がいを持った人が利用できる事業所が限られている。

3 障がいに対する理解の促進

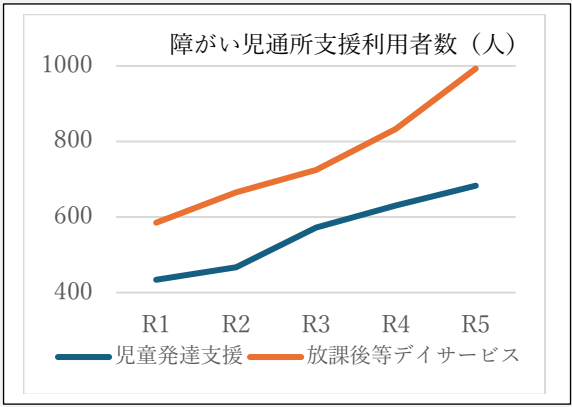
(現状) ■ 障がいに対する理解はまだまだ進んでいない。
■ 障がい者虐待の件数は増加している。

【地域自立支援協議会等の意見】

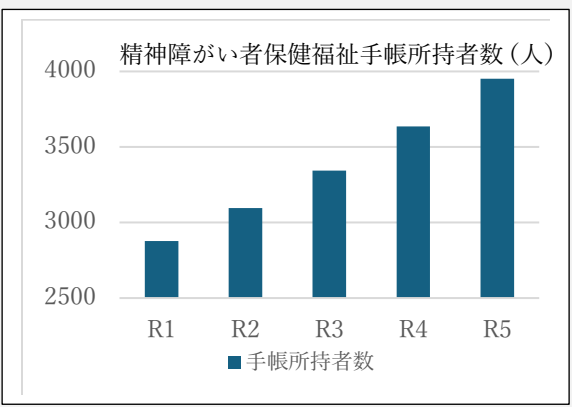
- 地域住民が虐待などに気付き、相談につながるケースもあり、周囲に関心をもってもらうことが大事。
- 障がい者が周囲の人から理解されにくく、偏見の目で見られたり、普通の人はできることがなぜできないのかと言われたりする。
- ヘルプマークを付けていると、イヤな顔をされることがあり、外出することが怖くなった。

2 発達障がいのある人への支援の充実

(現状) ■ 発達障がいの診断を受け、児童発達支援や放課後等デイサービスを利用する児童が増加している。
■ 精神障がい者保健福祉手帳を取得する人も増加している。

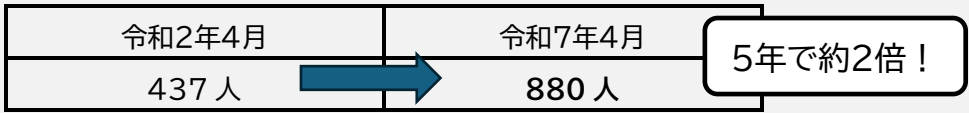


障がい児通所支援利用者数



精神障がい者保健福祉手帳所持者数

65歳未満の精神障がい者保健福祉手帳所持者のうち、発達障がいの診断により手帳を所持している人



【地域自立支援協議会等の意見】

- 卒業後の進路や就職がうまくいかず、引きこもりになるなど20代の相談が増加している。
- 軽度の発達障がいや、グレーゾーンの場合、どこに相談すればよいかわからない。

春日井市障がい者総合福祉計画改定に係るアンケート調査(令和元年度、4年度)
問:あなたは、世の中には障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。

